

慶應義塾大学 パネル調査共同研究拠点 主催

パネルデータ解析セミナー

慶應義塾大学パネル調査共同研究拠点では、主として初学者を対象としたパネルデータ分析の基礎を学ぶためのセミナーを開催いたします。

幅広い分野におけるパネルデータの公開に伴い、経済学を含む社会科学分野一般において、パネルデータを使った分析の重要性は飛躍的に増しつつあります。本セミナーでは、統計パッケージを使ったパネルデータの基本的なハンドリングの方法と基礎的な分析方法について、受講者による演習を交えながら解説を行う予定です。セミナーの概要は下記の通りです。

記

対 象：学部生、修士・博士課程在籍者・修了者、公務員、シンクタンク等研究機関研究員
(初歩的な計量分析の知識を持っている方)

日 時：2012年3月13(火)～16日(金) 各日とも13:00～18:00
(4日間の連続セミナーとなります)

会 場：慶應義塾大学 三田キャンパス

参加費：無料

定 員：60名【2012年2月21日(火)申込締切】

※ 定員に達しましたので、予約を締め切らせていただきました。多数のお申し込みをいただきありがとうございました。

概 要

実際の統計データを用いた演習を交えながら、分析手法・統計パッケージ(STATA)の利用法に関する解説を行います。演習では、慶應義塾家計パネル調査(KHPS)の一部を本セミナー用に加工したものを使用する予定です。具体的な内容は以下の通りです。

- ① パネルデータ分析の特徴とその実例
- ② データセットの構築(各年のデータのパネル化、変数の作成・欠損値の処理)
- ③ 基本的なクロスセクション分析の解説・演習
- ④ パネルデータモデル(固定効果モデル・変量効果モデル)の解説・演習

お問い合わせ先 慶應義塾大学 パネル調査共同研究拠点 担当者：坂本(pd-info@adst.keio.ac.jp)
--